

第4次美郷町読書推進計画

(令和8年度～令和12年度)

令和8年4月

美郷町教育委員会

目 次

はじめに	1 ページ
第一章 第3次推進計画における主な取組の成果と課題	2 ページ
第二章 第4次推進計画の基本方針	8 ページ
1 策定の目的	
2 計画の目標	
3 計画の期間と対象	
第三章 計画推進のための施策	9 ページ
1 基本的推進体制	
2 読書啓発活動や広報の推進	
3 家庭、図書館、学校等における読書活動の推進	
定義、説明等	17 ページ
参考資料	19 ページ
子どもの読書活動の推進に関する法律	
衆議院文部科学委員会における附帯決議	
美郷町「読書100泉」	

はじめに

「読書離れ」が進行している現状では、こどもたちの言葉の表現力の伸びは弱まり、大人になってからも、自ら考え、自分の言葉で表現することが困難になってしまうこと、さらには他者とのつながりに影響を与え、その後の人生をも左右するおそれがあることを私たちは危惧しなければなりません。

人生をより豊かにするために、読書によって、言葉を学び、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人を思いやる心を育み、「生きる力」とすることが必要です。読書習慣を身に付けることが、すべての学習の基礎となり、習慣の積み重ねが、ここに住む「人」を育て、それが将来にわたっての「町づくり」につながっていくものと考えます。

国は、平成13年にこどもの読書活動の推進に関し基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明らかにすることを目的とした「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布・施行しました。また、平成14年には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定し、その推進に努めています。

秋田県では、令和8年度から令和12年度を計画期間とする「第4次秋田県読書活動推進計画」を定め、「こどもの読書習慣の形成とライフスタイルに応じた読書活動の促進」を基本目標として、各世代に応じた取組を展開することとしています。

また、美郷町では第3次美郷町総合計画行動計画（前期、令和4年度～令和7年度）の中で「読書・視聴覚環境向上事業」を重点事業と位置付け、読書活動を推進してきました。

そして、この度、すべての町民と一緒に読書の重要性を考え、何よりもその楽しさ、喜びを共に享受できるよう「第4次美郷町読書推進計画」を策定しました。この計画を通じて、関係機関、家庭、地域、学校等がそれぞれの領域と立場で読書活動の推進に努め、より一層の連携を深めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、本計画を策定するに当たり、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

令和8年4月

美郷町教育委員会

第一章 第3次推進計画における主な取組の成果と課題

美郷町では、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第3次美郷町読書推進計画（第3次推進計画）に基づき、ボランティア団体、家庭、学校等と連携しながら、読書環境の整備に努めてきました。

本章では、第3次推進計画における主な取組を振り返るとともに、第4次美郷町読書推進計画（第4次推進計画）に向けた課題についてまとめます。

1. 基本的推進体制

(1) 読み聞かせボランティア等の団体の育成とネットワーク構築

町内3地区の読み聞かせボランティアグループが参加する研修会（POPづくり、読書フェスタ、県等主催研修会参加）を行い、技術の向上を図ったほか、毎月のおはなし会についての広報周知を支援しました。

学校図書館の整理等を行っているPTAボランティアグループの活動日には、司書が参加して、図書整理、図書修理等へのアドバイスや協力を行いました。

(2) 美郷町読書支援センターの運営

司書が毎週、各学校図書館を訪問して、学校での読書相談に応じたほか、学校図書館の環境整備に協力しました。

図書館利用者の問い合わせや課題解決に対応するため、県内外の図書館との情報共有及び相互利用を行うとともに、図書館職員のスキルアップを図りました。

また、県立六郷高等学校と図書館との間では、貸出カードを共通化して利便性や連携を深めました（令和5年度まで）。

課題 ◆ 基本的推進体制を維持し、美郷町読書推進計画の目標に基づく読書活動を一層推進する必要があります。

2. 読書啓発活動や広報の推進

(1) ホームページの充実

簡単に蔵書検索や貸出予約ができる図書検索システムを令和5年12月に更新し、町ホームページ上に掲載して、図書館利用促進を図りました。

(2) 「学友館だより」の掲載

【広報美郷への掲載 目標：月1回 → 実績：月1回】

毎月発行の「広報美郷」内の「学友館だより」や町公式Facebook・LINEを活用して、新着図書や行事の情報を提供しました。

(3) 本や読書に親んでもらえるコーナーの工夫、行事・講習会等の企画

【コーナー展示や情報提供 目標：年6回以上 → 実績：年8～9回】

【読書フェスタの開催 目標：1回、満足度80%以上 → 実績：年1回、満足度平均92.6%】

季節ごとにテーマを変えたコーナーづくりを行い、来館者に気軽に本を手にとってもらえるようコーナー展示（こどもの読書週間、男女共同参画月間、読書週間、認知症月間、学友館特別展との連携）や情報提供（新刊案内）を行いました。

また、読書フェスタの開催を通じて、図書館や本に親しみ、読書活動への理解や関心を高める活動に取り組みました。



(4) こどもの夢を育む催し物や教室の開催

【目標：小学校長期休み中のおはなし会の開催 1回以上 → 実績：1回】

【目標：手づくり絵本教室の開催 1回 → 実績：1回】

学校の長期休みを利用し、拡大版の「おはなしの会」や、「手づくりしかけ絵本教室」を毎年開催して、親子で本に興味をもつことができる機会を提供しました。

課題 ◆ 読書啓発活動を充実させ、より多くの方が図書館を利用し、読書に親んでいただく環境を整える必要があります。

3. 家庭、図書館、学校等における読書活動の推進

(1) 家庭における読書活動の推進

①ブックスタート事業の実施

【目標：ブックスタート事業の実施 年12回 → 実績：年12回】

町が行う乳児健診時に、赤ちゃんと保護者に絵本を手渡して、家庭の中に自然な形で絵本を取り入れてもらうことができました。また、町こども子育て課の担当や民生児童委員、読み聞かせボランティアグループも参加して、行政や地域が一体となって子育てを応援していることを伝えることができました。

② 保護者に対する読書活動への理解と協力

おはなし会や図書館事業のお知らせ、おすすめ本の紹介等を、図書館、公民館等の町内施設に設置して、情報提供しました。

③ 家庭での読み聞かせにおすすめの本や親子で一緒に楽しめる本の紹介

紹介リーフレットを作成して、ブックスタートのスタートパックへの同梱や、図書館内の「えほんのへや」に設置し、紹介しました。

④ 郷土愛を深め豊かな心を育む「美郷オリジナル絵本」の作成

令和3年度から5年度にかけて、町への愛郷心や情操を養い、かつ幼少期から読書に親しむ機会を提供するため、美郷大使・イラストレーターの永田萌氏の挿絵による美郷町オリジナル絵本「ミサトとセッカのだいぼうけん」を令和6年3月に刊行しました。3歳児の町内認定こども園入園式時に贈呈しています。

課題 ◆ 幼少期から親子で読書に親しむことは、その後の読書習慣の定着に有効であることから、関係機関と連携して引き続き行う必要があります。

(2) 図書館における読書活動の推進

① 資料やサービスの充実

【目標:来館者数 年間20,000人以上 → 実績:年間17,234人(達成率86.1%)】

【目標:貸出冊数 年間35,000冊以上 → 実績:年間35,790冊(達成率102.2%)】

水に関する本や郷土資料等美郷町らしい蔵書の収集に努めたほか、利用者のニーズに応えるため、リクエスト制度を採用し、蔵書の充実を図りました。

また、町福祉保健課の協力を得て、「認知症コーナー」を設置しました。

② 学校等との連携の強化

【目標:図書館司書の派遣 小中学校各校週1回 → 実績:各校週1回】

平成29年度より、小中学校に毎週、図書館司書が訪問して連携を深めました。

また、こども園、放課後児童クラブへの団体貸出は、貸出・返却時の本の移動に協力することにより、回数が増加しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出回数	51回	53回	58回	55回
月平均	4.3回	4.4回	4.8回	4.6回

③ 図書館職員の資質の向上

【目標:県立図書館等が主催する研修会等への参加 → 実績:年1回以上】

年1回、県立図書館等で行われた研修に積極的に参加しました。

④ ボランティア団体との連携

読み聞かせボランティアグループによるこども園や学校等での読み聞かせ活動を積極的に行いました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
活動回数	109回	93回	111回	107回

⑤ 「心に残った本の紹介コンクール」の開催

毎年、多くの応募があり、読書フェスタ時に表彰を行いました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
応募作品数	727点	967点	920点	834点	864点

⑥ 図書館見学、図書館利用学習、インターンシップ等の受入の推進

積極的に受け入れ、図書館の必要性や運営、読書活動事業の理解を深めていただきました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受入件数	5件	8件	9件	7件
受入人数	146人	235人	180人	172人

⑦ 感染症対策を実施し、安心、安全に利用いただける環境づくり

カウンターや閲覧席の消毒や、館内換気を実施しながら、令和2年度に導入した図書消毒機や、令和3年度に導入した加湿器の活用により、様々な感染症の感染予防に取り組み、安心・安全に利用できる環境づくりを実施しました。

課題 ◆ 学校・家庭・地域と連携して図書館機能を充実させ、読書活動の拠点として図書館をより多くの方に利用いただけるよう取り組むとともに、感染症対策を行う必要があります。

(3) 学校等における読書活動の推進

① 「学校図書館図書標準」の達成と活用

【目標：学校図書館図書標準の指標に基づく蔵書冊数達成と活用 →

実績：小・中学校全てで学校図書館図書標準を達成】

令和7年12月1日現在

学校名	学級数	学校図書館図書標準蔵書冊数	各校蔵書冊数
仙南小学校	11	$5,080+480 \times (\text{学級数 } 11-6) = 7,480$ 冊	18,036 冊
千畑小学校	12	$7,960+400 \times (\text{学級数 } 12-12) = 7,960$ 冊	13,188 冊
六郷小学校	14	$7,960+400 \times (\text{学級数 } 14-12) = 8,760$ 冊	12,741 冊
美郷中学校	16	$10,720+480 \times (\text{学級数 } 16-12) = 12,640$ 冊	15,626 冊

② 読書に親しむ時間の確保、学校図書館の貸出冊数の増加

少子化及び学校での学習や行事等が繁忙になり、貸出冊数は減少しています。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
仙南小学校	2,589冊	2,647冊	2,906冊	3,032冊	2,446冊
千畑小学校	868冊	1,065冊	1,069冊	1,194冊	857冊
六郷小学校	1,642冊	1,420冊	692冊	914冊	536冊
美郷中学校	1,135冊	336冊	285冊	233冊	91冊

③ 学校図書館内の整備、展示の工夫

【目標：(再掲) 図書館司書の派遣 小中学校各校週1回 → 実績：週1回】

図書館司書や学校図書館ボランティアが、図書館内の環境整備や季節に応じた飾り付け等により、こどもたちが図書館に親しみ、利用機会を増やす工夫をしました。

④ 長時間にわたる学校図書館の開放

学校が開いている時間は随時利用できるよう開放しました。

⑤ 図書館と学校図書館との連携

授業等で参考となる図書の相談等を教職員から受ける体制を整え、図書館司書がアドバイス等を行ったほか、「調べ学習」に利用する本の団体貸出を行いました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出回数	8回	11回	1回	3回

⑥ 図書館の利用指導、授業での図書館活用

図書館見学や図書館利用学習を積極的に受け入れ、図書館の利用指導を行いました。

※実績は、第1章3-(2)-⑥参照

⑦ 読書指導の充実

美郷町読書100泉や読書指導に取り組みました。読書100泉の読破者は下記のとおりで、各校において達成者を表彰しました。また、令和7年度中に読書100泉を更新し、令和8年度から適用することとしました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3小学校	12人	22人	31人	14人

(出典：美郷町教育委員会教育推進課)

⑧ ボランティアの活用

読み聞かせボランティアグループによる学校での読み聞かせ活動を積極的に行い、地域の人々と交流する機会を確保しました。

※実績は、第1章3-(2)-④ 参照

⑨ こども園、放課後児童クラブでの本に親しむ環境の整備

図書館の団体貸出や読み聞かせボランティアによる読み聞かせを行い、本に親しみ、身近に本がある環境づくりを行いました。

⑩ 教職員への啓発

図書館司書が週1回の頻度で小中学校を訪問し、その際に教職員との相談や情報提供を行い、読書の必要性を啓発しました。

課題 ◆ 活動や家庭環境、余暇の過ごし方が多様化していますが、子どもたちが自発的に読書習慣を身に付けられるよう、最も身近な読書施設である学校図書館へ親しみをもたせ、その機能を活用する取組を推進する必要があります。

第二章 第4次推進計画の基本方針

1. 策定の目的

国や県の動きを踏まえ、本町の実情を勘案して、町民一人ひとりが読書と向かい合うことの大切さ、楽しさを理解し、こどもの頃から読書習慣を身に付けるための環境整備と施策の展開を図ることを基本理念とする「第4次美郷町読書推進計画」を策定します。

第4次計画策定にあたり、第3次美郷町総合計画（2022-2029）の「行動計画（後期：令和8年度～令和11年度）」、美郷町こども計画（令和7年3月）を踏まえた計画とします。

2. 計画の目標

本計画の目的を達成するため、次の3つを施策の基本として、町民の読書活動を総合的に推進します。

（1）基本的推進体制

町民の読書に対する意識を高め、主体的に読書と向き合ってもらうために、関係機関や団体、学校、ボランティア等と広く連携した読書環境づくりの体制推進に努めます。

（2）読書啓発活動や広報の推進

町全体で読書の素晴らしさ、楽しさを共有できるよう読書についての理解や関心を高め、それを維持していくことのできる環境づくりを進めていきます。

（3）家庭、図書館、学校等における読書活動の推進

町民の読書活動を支えるために、家庭、図書館、学校においてそれぞれの立場から取り組んでいくべき役割を追求し、その実行に努めます。

3. 計画の期間と対象

この計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。ただし、計画期間中においても必要に応じて見直しを行い、記述内容の変更・修正ができるものとします。計画の対象は、こどもたちはもとより、すべての町民とします。

第三章 計画推進のための施策

1. 基本的推進体制

読書推進活動を展開していく上で、基本的な組織の設置や情報提供の拠点、関係機関や団体、学校、ボランティアの連携、読書環境整備の充実等が求められます。

そのため、次のような基本的推進体制の整備に努めます。

- (1) 読み聞かせボランティア等の団体の活動を支援し、構築した基本的体制の推進に努めます。また、団体の活動の周知を図ります。
- (2) 学校および地域における読書活動の推進に取り組み、機能を充実させます。

(1) 読み聞かせボランティア等の団体の育成とネットワーク構築

町内3地区で活動している読み聞かせボランティア団体や、学校図書館の整理を行っているPTAボランティアグループとの連携を維持し、美郷町読書推進計画の目標に基づく読書活動を一層推進します。あわせて、必要に応じて相互協力を行うとともに、各団体の活動を広く町民に周知し、団体の維持と活性化を図ります。また、図書館において団体の活動の相談に応じ、読み聞かせ、ブックトーク、図書整理、図書修理等の研修の情報提供をします。

(2) 学校および地域における読書活動の推進

図書館では、引き続き県子ども読書支援センターとの連携を図り、必要に応じた指導を受けながら学校や地域におけるこどもの読書についての「情報センター的機能」を充実させます。

学校図書館へは毎週、図書館司書が訪問して学校での読書相談に応じるほか、学校図書館の環境整備に協力します。

大人からの高度な問い合わせや課題解決に対応するため、専門書等の幅広い資料の収集や他図書館との情報共有及び相互利用を行うとともに、図書館職員のスキルアップを図ります。

2. 読書啓発活動や広報の推進

読書活動を推進するためには、町民が読書に関心をもち、自主的な読書活動を行うことが必要です。読書に関するより広範囲で新鮮な情報発信と読書活動の機会を提供するため、次のことを推進します。

- (1) 町ホームページ内の図書検索システムを広く周知して、図書館利用を促進します。
- (2) 「広報美郷」に図書館案内である「学友館だより」を掲載します。
- (3) 本や読書に親しんでもらえるようなコーナーの工夫、行事・講習会等を企画します。
- (4) 夏休みや冬休み等、学校の長期休み中にこどもの夢を育む催し物や教室を開催し、親子で図書館への関心を促す取組を行います。

(1) ホームページの充実

インターネットが普及した現代において、ホームページを使った情報収集は手軽に行うことができ、最も身近な手段の一つです。町図書検索システムの存在や使い方等を広く周知して、図書館利用を促進します。

(2) 「図書館情報」の掲載・発信

【目標：広報美郷等への掲載 月1回以上】

「広報美郷」に掲載するほか、町公式 Facebook・LINE・テレビ回覧板を活用して、新着図書案内や図書館・学校等における読書に関する取組や行事等の情報を随時提供します。

(3) 本や読書に親しんでもらえるようなコーナーの工夫、行事・講習会等の企画

【目標：コーナー展示や情報提供 年6回以上】

【目標（11年度末）：図書館事業の参加人数（累計） 600人以上】

読書活動に対する理解や関心の普及を図るため、図書館内において読書週間など全国的な読書関連事業に関するテーマや季節に応じた図書コーナー、図書展示を行います。

また、読書フェスタ等のイベントを開催し、図書館や本に親しみ、読書活動への理解や関心を高める活動に取り組みます。



(4) こどもの夢を育む催し物や教室の開催

【目標：小学校長期休み中のおはなし会の開催 1回以上】

学校の長期休みを利用し、拡大版の「おはなしの会」や、「手づくり絵本教室」等本に親しむことのできるこども向けの講座を企画し、こどもたちが自然に本や読書に興味をもつ機会を提供します。

3. 家庭、図書館、学校等における読書活動の推進

こどもたちの読書活動を支えていく上で、家庭、図書館、学校等においてそれぞれの立場から取り組んでいくべき役割があります。最も効果的に読書習慣が身に付くよう、町全体で環境を整備し、充実させていく必要があります。また、そうした整備に取り組むことは、こどものみならず、大人も読書と向かい合う契機になると考えます。

そのため、各方面において次のような取組を推進します。

(1) 家庭における読書活動の推進

- ① ブックスタート事業を引き続き実施します。
- ② こどもの読書活動への理解と協力が得られるよう、保護者に対し読書に関する情報を提供します。
- ③ 家庭での読み聞かせにおすすめの本を紹介します。また、親子で一緒に楽しめる本の紹介等を行い、家庭で読書に親しむ運動を推進します。
- ④ 郷土愛を深め豊かな心を育む「美郷オリジナル絵本」の配付を通じて、幼少期の読書活動の推進を図ります。

① ブックスタート事業の実施

【目標：ブックスタート事業の実施 年12回】

町が行う乳児健診の際に、乳児からの健やかな心の発達や親子のふれあいを目的として絵本を手渡すブックスタート事業を継続して行います。この事業により、絵本が自然な形で家庭の中に取り入れられ、乳児と家族が絵本を通じて楽しいひとときを過ごすことができ、無理なく読書習慣が身に付くものと考えます。



② 保護者に対する読書活動への理解と協力

こどもの成長過程における読書に親しむことの重要性や家族で読書に親しむことの楽しさ、素晴らしさを伝えるために、令和8年に開設するこども子育て支援拠点施設、図書館、保健センター等の公共施設や、子育て支援の催し会場に保護者に向けた読書の啓発資料を設置し、読書への関心を深め、読書の楽しさを感じることができるよう、情報提供に努めます。

また「あそびにおいで」では、こども園図書館の活用と美郷町住民活動センター内の活動スペースに設置される絵本の充実に努め、読書活動への理解と情報提供を推進します。

③ 家庭での読み聞かせにおすすめの本や親子で一緒に楽しめる本の紹介

ブックスタート事業を契機とした本とのふれあいが、乳幼児期だけで終わることなく、家庭内で本にふれる機会が継続されるように、こどもへの読み聞かせに薦めたい本や、親子で一緒に読んだり感想を話し合ったりできる本の紹介を行い、家庭内で読書時間を共有することの楽しさ、大切さを伝えていきます。

④ 郷土愛を深め豊かな心を育む美郷町オリジナル絵本の贈呈

低年齢層（3～7歳）を対象として、町への愛郷心や情操を養い、かつ幼少期から読書に親しむ機会を提供するため、美郷大使・イラストレーターの永田萌氏の挿絵による美郷町オリジナル絵本「ミサトとセッカのだいぼうけん」を、3歳児の町内こども園入園時に贈呈します。

（2）図書館における読書活動の推進

- ① 資料やサービスの充実を図ります。
- ② 学校等との連携を深めます。
- ③ 図書館職員の資質の向上を図ります。
- ④ ボランティア団体との連携を深めます。
- ⑤ 「心に残った本の紹介コンクール」を開催し、読書活動を啓発します。
- ⑥ 図書館見学、図書館利用学習、インターンシップ等の受入を促進します。
- ⑦ 読書が困難な方の読書環境の整備・支援

① 資料やサービスの充実

【目標：来館者数 年間 16,000 人以上】

【目標：貸出冊数 年間 35,000 冊以上】

図書館は、町民が自ら学び、考え、より豊かな生活の実現を目指す生涯学習社会の基盤としての役割を担っています。また、町民にとって気軽に利用でき、たくさんのお本と出会い、読書を楽しむことができる場として、読書活動の推進に大きな役割を担っています。

こどもたちにとって図書館は、多様な本と出会い、読書の楽しみを通じて人間性を育む場です。大人にとっては自ら学び考える機会となり、図書館で知りたいことを自主的に調べる「知ることの喜び」を感受することができます。

そのための基礎となる様々な資料やサービスの提供は図書館としての責務であり、図書館において、次のような資料やサービスの充実に努めます。

- ・地域性を生かし、利用者のニーズに合わせた資料の収集に努め、蔵書を充実させ、貸出冊数の増加を目指します。
- ・美郷町らしい蔵書を充実させるため、水に関する本、環境問題について考える本、乳幼児期からの読書推進に関する本（児童書、絵本等）、食育関連本、郷土資料の収集について心がけます。
- ・図書館事業やサービスの内容、蔵書についての情報等の周知を行い、来館者の増加に努めます。

② 学校等との連携の強化

【目標：図書館司書の派遣 小中学校各校週1回】

こどもたちにとって最も身近な本との出会いの場である「学校図書館」の充実と読書支援のため、学校との連携を深め、図書館において次のような支援を進めていきます。

- ・読み聞かせやブックトーク、団体貸出の機会を増やすよう努めます。また、図書館の使い方や楽しみ方を学校に出向いて説明する機会を創出します。
- ・図書整理、授業での活用、図書展示の方法等学校図書館の運営について、PTAやボランティア団体の活動を支援します。
- ・こども園との連携を図り、読み聞かせや絵本の紹介をとおして、ブックスタート事業のアフターケアを充実させます。また、こども園への大型絵本や紙芝居の貸出冊数を増やし、図書館の積極的な利用を促します。
- ・児童や生徒の学習等で図書館を有効に活用できるよう学校へ働きかけます。
- ・放課後児童クラブへの図書の貸出、本の紹介、ボランティア団体等の協力による読み聞かせ活動の充実を図ります。

③ 図書館職員の資質の向上

【目標：県立図書館等が主催する研修会等への参加】

図書館利用者の様々なニーズに対応するため、図書館職員が積極的に県立図書館等で行われる研修に参加し、知識・情報の共有が図られるよう努めます。

④ ボランティア団体との連携

図書館や学校での読み聞かせ活動や学校図書館の資料整理にはボランティアの協力が重要となってきます。読み聞かせボランティアや地域のボランティアコーディネートを行うNPO法人「みさぽーと」との連携を一層深め、図書館、学校での活動を支援します。

⑤ 「心に残った本の紹介コンクール」の開催

町内小中学校、県立六郷高等学校へ作品を募集し、「心に残った本の紹介コンクール」を継続し、読書活動の啓発を促します。また、応募作品数をこれまでより増やしていくことを目指します。

⑥ 図書館見学、図書館利用学習、インターンシップ等の受入の促進

図書館見学や図書館を利用した授業、インターンシップ（職場体験）を積極的に受け入れ、充実した体験学習ができるよう体制を整えます。

⑦ 読書が困難な方の読書環境の整備・支援

読書バリアフリー法に基づき、障がい者等が図書館を利用しやすくするためのサービスに関する研修の実施等、読書環境整備を進めます。

また、高齢者等の読書活動を一層推進するため、貸出した図書資料をご自宅に有料で送付する図書郵送貸出しサービスを行います。

(3) 学校等における読書活動の推進

- ① 「学校図書館図書標準」の達成と活用に努めます。
- ② 読書に親しむ時間を確保し、学校図書館の貸出冊数の増加を目指します。
- ③ 学校図書館内の環境整備と、より親しみやすい展示の工夫等に努めます。
- ④ こどもたちが疑問に思ったことをすぐに調べることができるように、学校図書館の開放に努めます。
- ⑤ 図書館と学校図書館の連携を図り、相互に補完できる体制を整えます。
- ⑥ 図書館の利用指導や、授業での図書館の活用により、こどもたちが図書館に足を運ぶ回数が増えるよう指導を行います。
- ⑦ 読書指導の充実に努めます。
- ⑧ ボランティアの活用に努めます。
- ⑨ こども園、小中学校、高等学校の各段階に加え、放課後児童クラブにおいても、本に親しむ環境整備に努めます。
- ⑩ 学校図書館運営や読書活動に対する教職員の理解や関心が高まるよう啓発していきます。

① 「学校図書館図書標準」の達成と活用

【目標：学校図書館図書標準の指標に基づく蔵書冊数達成と活用】

こどもたちにとって、最も身近な本との出会いの場は学校図書館です。そこには、すべてのこどもが新しい世界を知り、新鮮な情報を手に入れることができるような本が揃っている基本的な体制が必要です。

小中学校において「学校図書館図書標準」の指標に基づく蔵書冊数の達成と活用に努めます。

② 読書に親しむ時間の確保、学校図書館の貸出冊数の増加

こどもたちは、授業や部活動、習い事等への時間の確保から、読書に親しむ時間を確保しづらくなってきています。落ち着いて読書を楽しむためには、学校生活の中で習慣として身に付けることが重要です。そこで、読書の時間や読み聞かせ等を通じて全校で読書に親しむ時間を確保するよう努めます。また、そのことを契機として貸出冊数が増加するよう、学校図書館の利用を促していきます。

③ 学校図書館内の整備、展示の工夫

【目標：（再掲）図書館司書の派遣 小中学校各校週1回】

こどもたちが図書館に親しみ、利用機会を増やすためには、書架が分類ごとに整理された状態で希望の本を探しやすいこと、図書展示により図書館にいただけで楽しくなるような工夫が為されていること等が必要です。そのため、多様な学習ニーズに対応しつつ、学校図書館内の整備を行い、こどもたちの興味・関心をそそる図書展示やコーナーの設置に努めます。

④ 長時間にわたる学校図書館の開放

こどもたちが疑問に思ったことをすぐに調べ、読みたい本をいつでも手に取ることができるよう、決められた時間のみでなく、放課後も含めた長時間にわたって学校図書館を開放しておく必要があります。図書館でも、学校が開いている時間は随時利用できるよう開放に努めます。

⑤ 図書館と学校図書館との連携

授業で一斉に同じジャンルの本が必要になった場合や、限られた図書購入費ではこどもたちのリクエストに応じきれない場合等、自校の図書館だけでは補いきれない状況に対応するため、図書館や他校の学校図書館と連携し、こどもたちの探究心に最大限応えていくよう努めます。

⑥ 図書館の利用指導、授業での図書館活用

図書館での本の探し方、調べものの進め方等正しい利用方法が分かれば、図書館で過ごす時間はより充実し、楽しいものになります。また、授業で図書館へ足を運ぶ回数が増えることで、図書館がますます身近なものになります。図書館の利用指導や授業での図書館の活用を積極的に進めます。

⑦ 読書指導の充実

こども園、小学校、中学校、高等学校の各段階において、読書習慣を身に付けるため、その成長段階に合った本との出会いは、単なる読書に留まらず、こどもたちの人格形成やコミュニケーション能力の育成、情報活用能力の向上などの機会を提供します。町がこどもたちに読んでもらいたい本として選定した美郷町読書100選（泉）の活用や、学校等において推薦図書コーナーを設けてこどもたちの選

書を手助けし、教職員が読書指導力を向上させるための研究や取組を行うことにより、図書館や本を利用した指導の充実に努めます。

⑧ ボランティアの活用

読み聞かせボランティア団体や「NPO法人みさぼーと」を活用することにより、充実した読み聞かせの時間を確保でき、行き届いた蔵書の整理を行うことができるものと考えます。また、ボランティアが学校で活動することで、子どもたちが地域の人々と交流する機会が増え、読書体験をより幅広いものにすることができると同時に、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動に取り組みます。

⑨ こども園、放課後児童クラブ、放課後等デイサービスでの本に親しむ環境の整備

こどもの成長や興味・関心に応じた図書の充実を図るため、図書館の団体貸出の利用、読み聞かせボランティアの活用等を通して、乳幼児期から発達段階に応じて本に親しみ、身近に本がある環境づくりに努めます。

⑩ 教職員への啓発

図書館運営やその活用が子どもたちの学習や成長に非常に重要であり、読書活動の必要性について意識を高めていくことはすべての環境整備の基礎になると言えます。学校図書館運営や読書活動に対する教職員への理解や関心が高まるよう、教職員に対して、情報提供を行い、啓発していきます。

【定義】

図書館＝美郷町立図書館

司書＝美郷町立図書館に所属する司書

学校図書館＝美郷町立小中学校の校内に設置されている図書館（室）

小学校、中学校＝美郷町立の各小学校、中学校

【説明】

●ブックトーク

一定のテーマを立てて一定時間内に何冊かの本を紹介する手法のこと。読み聞かせや朗読とは異なり、本を最初から順に読んでいくのではなく、その本の面白さを伝え、その本を読んでみたいという気持ちを起こさせるもの。

●えほんからはじめよう（ブックスタート事業）

町で行う乳児健診の際、赤ちゃんと保護者に、絵本・子育て支援のお知らせ・おはなし会の案内・図書館利用申込書等が入ったパックを手渡し、絵本を開いて赤ちゃんと家族があたたかい時間を共有することの大切さを伝える事業のこと。また、民生児童委員や読み聞かせグループ等のボランティアも参加することで、地域と行政が一体となって子育てを応援していることも伝えている。

●あそびにおいて

入園前の子育て家庭のふれあい、情報交換の場を提供する事業。六郷わくわく園内において、毎週水曜日は0歳（ピヨピヨの日）、毎週木曜日は1歳以上（ニコニコの日）として、午前9時30分から午前11時30分まで楽しいイベントを行っている（令和8年3月現在）。

●学校図書館図書標準

公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年3月に現在の文部科学省が定めたもの。

小学校		中学校	
学級数	蔵書冊数	学級数	蔵書冊数
1	2,400冊	1～2	4,800冊
2	3,000冊	3～6	4,800+640×(学級数-2)冊
3～6	3,000+520×(学級数-2)冊	7～12	7,360+560×(学級数-6)冊
7～12	5,080+480×(学級数-6)冊	13～18	10,720+480×(学級数-12)冊
13～18	7,960+400×(学級数-12)冊	19～30	13,600+320×(学級数-18)冊
19～30	10,360+200×(学級数-18)冊	31～	17,440+160×(学級数-30)冊
31～	12,760+120×(学級数-30)冊		

●全国的な読書関連事業

①こどもの読書週間（4月23日～5月12日）

1959年に始まり、もともとは5月1日～14日の2週間であったが、2000年の「子ども読書年」を機に読書推進の機運が高まり、現在の4月23日～5月12日に延長された。

②読書週間（10月27日～11月9日）

10月27日～11月9日の2週間。昭和22年、「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」という決意のもとに始まり、国民的な行事として広がりつつある。

③子ども読書の日（4月23日）

2001年12月に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」により4月23日を「子ども読書の日」と定めた。

④文字・活字文化の日（10月27日）

2005年7月に施行された「文字・活字文化振興法」により、読書週間の初日にあたる10月27日を「文字・活字文化の日」と定めた。

【第4次推進計画の各取組の年次目標一覧】

目標	単位	令和7年度 (実績)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
学友館だよりの掲載	回	12	12	12	12	12	12
コーナー展示や情報提供	回以上	6	6	6	6	6	6
読書フェスタ開催	回	1	1	1	1	1	1
	人	141	150	150	150	150	—
小学校長期休み中のおはなし会開催	回	1	1	1	1	1	1
ブックスタート事業の実施	回	12	12	12	12	12	12
図書館来館者	人以上	15,615	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
図書館貸出冊数	冊以上	34,674	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
図書館司書の派遣	回	週1 各小中学校	週1 各小中学校	週1 各小中学校	週1 各小中学校	週1 各小中学校	週1 各小中学校
県立図書館等主催研修会への参加	—	随時	随時	随時	随時	随時	随時
学校図書館図書標準の達成	—	学級数に応じて指標冊数が異なるため、学校毎に毎年度末に評価する					

参 考 资 料

○ 子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県

における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

平成13年12月12日公布・施行

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもへの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

令和8年4月～

美郷町「読書100泉（小学校下半年部門）」

NO	書名	著者	出版社
1	アナグマのもちよりパーティー	ハーウィン・オラム	評論社
2	おおきな木	シェル・シルヴァスタイン	あすなろ書房
3	おとなりのだれかさん	カーシャ・デニセビッチ	評論社
4	あらしのよるに	木村裕一	講談社
5	さっちゃんのまほうで	たばたせいいち	借成社
6	いなかのネズミとまちのネズミ	イソップ物語	岩崎書店
7	うんこ日記	村中季衣	BL出版
8	エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット	福音館書店
9	王さまと九にんのきょうだい	中国の民話	岩波書店
10	おかあさんの紙びな	長崎源之助	岩崎書店
11	おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん	長谷川義史	BL出版
12	おじいちゃんのごくらごくら	西本鶏介	鈴木出版
13	おしゃべりなたまごやき	寺村輝夫	福音館書店
14	ちびっこゴリラのちびちび	ルース・ボーンスタイン	ほるぷ出版
15	おにたのぼうし	あまみきみこ	ポプラ社
16	おぼけのはなし(1)	寺村輝夫	あかね書房
17	おまえうまそうだな	西宮達也	ポプラ社
18	かあさんどうして	谷川俊太郎	佼成出版社
19	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房
20	かさじぞう	瀬田貞二	福音館書店
21	かたあしだちょうのエルフ	おのきかく	ポプラ社
22	かちかちやま	いもようこ	金の星社
23	かわ	加古里子	福音館書店
24	かわいそうなぞう	つちやゆきお	金の星社
25	大きい1年生と小さな2年生	古田足日	借成社
26	たすひくねこ	にわ	マイクロマガジン社
27	きいろいばけつ	もりやまみやこ	あかね書房
28	吉四六さん	寺村輝夫	あかね書房
29	おじろわしのうみ	手島圭三郎	リブリオ出版
30	きつねのでんわボックス	戸田和代	金の星社
31	教科書にでてくる生きものをくらべよう①	今泉忠明	学研プラス
32	教室はまちがうところだ	蒔田晋治	子どもの未来社
33	くまの子ウーフ	神沢利子	ポプラ社
34	クマよ	星野道夫	福音館書店
35	ぐりとぐら	なかがわりえこ	福音館書店
36	カラーモンスター きもちはなにいろ？	アナ・レナス	永岡書店
37	子うさぎましろのお話	ささきたづ	ポプラ社
38	こぎつねコンとこだぬきボン	松野正子	童心社
39	おおはくちょうのそら	手島圭三郎	リブリオ出版
40	こびとのくつや	グリム童話	金の星社
41	こぶとりじいさん	いもようこ	金の星社
42	三びきのやぎのがらがらどん	北欧民話	福音館書店
43	さんまいのおふだ	千葉幹夫	小学館
44	じごくのそうべえ	田島征彦	童心社
45	しずくのぼうけん	マリア・テルリコフスカ	福音館書店
46	しっぽのはたらき	川田健	福音館書店
47	じぶんだけのいろ	レオ＝レオニ	好学社
48	11びきのねこ	馬場のぼる	こぐま社
49	そらめくんのベッド	なかやみわ	福音館書店
50	じゅげむ	川端誠	クレヨンハウス

美郷町「読書100泉（小学校下学年部門）」

NO	書名	著者	出版社
51	しろいうさぎとくろいうさぎ	ガーズ・ウィリアムズ	福音館書店
52	スーホの白い馬	大塚勇三	福音館書店
53	すき	谷川俊太郎	理論社
54	すてきな三にんぐみ	トミー＝アンゲラー	偕成社
55	すみっこのおぼけ	武田美保	ポプラ社
56	だいじょうぶ だいじょうぶ	いとうひろし	講談社
57	ちいさなくれよん	篠塚かおり	金の星社
58	ちかたろう	いまえよしと	ポプラ社
59	どこからきたのおべんとう	鈴木まもる	金の星社
60	うつくしいってなに？	最果タヒ	小学館
61	てぶくろ	ウクライナ民話	福音館書店
62	手ぶくろを買いに	新美南吉	偕成社
63	でんでんむしのかなしみ	新美南吉	大日本図書
64	どうぞのいす	香山美子	ひさかたチャイルド
65	どうぶつはいくあそび	きしだえりこ	のら書店
66	どきん	谷川俊太郎	理論社
67	としょかんライオン	ヌードセン・ホークス	岩崎書店
68	となりのせきのますだくん	武田美保	ポプラ社
69	ともだち	谷川俊太郎	玉川大学出版部
70	ともだちや	内田燐太郎	偕成社
71	どろんこハリー	ジーン・ジオン	福音館書店
72	ないた赤おに	浜田広介	金の星社
73	もったいないばあさん	真珠まりこ	講談社
74	にじいろのしまうま	こやま峰子	金の星社
75	にんぎものひけつ	森絵都	童心社
76	ねずみくんのチョコキ	なかえよしを	ポプラ社
77	ねずみのよめいり	いもとようこ	金の星社
78	給食室の一日	大塚菜生	少年写真新聞社
79	のはらうた①	工藤直子	童話屋
80	八郎	斎藤隆介	福音館書店
81	はれときどきぶた	矢玉四郎	岩崎書店
82	100万回生きたねこ	佐野洋子	講談社
83	びんぼうがみとふくのかみ	富安陽子	小学館
84	ふしぎなかぎばあさん	手島悠介	岩崎書店
85	ふしぎなキャンディーやさん	みやにしたつや	金の星社
86	ふたりはともだち	アーノルド・ローベル	文化出版局
87	フランダーズの犬	ウィーダ	金の星社
88	ブレーメンのおんがくたい	グリム童話	福音館書店
89	フレデリック	レオ・レオニー	好学社
90	ぼくにげちやうよ	マーガレット・ワイズ・ブラウン	ほるぷ出版
91	ますだくんの1ねんせい日記	武田美保	ポプラ社
92	マッチウリの少女	アンデルセン	金の星社
93	やさしいライオン	やなせたかし	フレーベル館
94	めつきらもつきらどおんどん	長谷川摂子	福音館書店
95	やまんばのにしき	まつたにみよこ	ポプラ社
96	雪の女王	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	ほるぷ出版
97	よかったねネッドくん	レミー・シーリップ	偕成社
98	わすれものどけます	くすのきしげのり	東洋館出版社
99	わすれられないおくりもの	S. パーレイ	評論社
100	わたし	谷川俊太郎	福音館書店

美郷町「読書100泉（小学校上学年部門）」

No.	書名	著者	出版社
1	あきらめないこと、それが冒険だ	野口健	学研
2	あしながおじさん	ジーン・ウェブスター	講談社
3	最初の質問	長田弘	講談社
4	それからぼくはひとりで歩く	アリシア・モリーナ	ぼるぶ出版
5	いっしょにいきて、なに？	オスカー＝ブルニフィエ	朝日出版社
6	いっぼんの鉛筆のむこうに	谷川 俊太郎	福音館書店
7	いのちのふるさと水田稲作	岡部伊都ほか	ジャパンプレス・フォト
8	ヨンじいちゃん	ペーター・ヘルリング	偕成社
9	ウエズレーの国	ポール＝フライシュマン	あすなる書房
10	宇宙人のしゅくだい	小松左京	青い鳥文庫
11	エーミールと探偵たち	エーリヒ＝ケストナー	岩波書店
12	絵で読む広島の原爆	那須正幹	福音館書店
13	江戸の笑い	興津 要	講談社
14	絵本星の王子さま	サン・テグジュペリ	集英社
15	大きな森の小さな家	ローラ・インガルス・ワイルダー	福音館書店
16	大草原の小さな家	ワイルダー	福音館書店
17	大どろぼうホッツェンブロッツ	プロイスラー	偕成社
18	まほろ公園で、ふりむけば	藤重ヒカル	偕成社
19	おじいちゃんは水のにおいがした	今森光彦	偕成社
20	オズの魔法使い	バウム	福音館書店
21	おとぎ草子・山椒太夫	清水 義範・ねじめ 正一	講談社
22	片耳の大シカ	椋鳩十	偕成社
23	金子みすゞ童謡集わたしと小鳥とすずと	金子みすゞ	JURA 出版
24	カモメに飛ぶことを教えた猫	ルイス＝セプルベダ	白水社
25	ガラスのうさぎ	高木敏子	金の星社
26	ガリバー旅行記	スウィフト	講談社
27	川	前川かずお	こぐま社
28	きまぐれロボット	星 新一	角川書店
29	キャプテンはつらいぜ	後藤竜二	講談社
30	りんごかもしれない	ヨシタケシンスケ	ブロンズ新社
31	ギリシア神話	アポロドーロス ほか	講談社
32	蜘蛛の糸・杜子春	芥川龍之介	講談社
33	クリスマス・キャロル	ディケンズ	岩波書店
34	車いすの犬チャンプ	池田まき子	ハート出版
35	車の色は空の色	あまんきみこ	ポプラ社
36	賢者の贈り物	オー・ヘンリー	富山房
37	子どものすきな神さま	新美南吉	小峰書店
38	ことりをすきになった山	エリック・カール/アリス・マクラーレン	偕成社
39	ことわざ絵本	五味 太郎	岩崎書店
40	西遊記1	斉藤洋	理論社
41	ざんねんないきもの事典	今泉忠明・丸山貴文	高橋書店
42	シートン動物記おおかみ王ロボ	アーネスト・T・シートン	童心社
43	しかられた神さま	川崎 洋	理論社
44	中受	工藤純子	講談社
45	シャーロットのおくりもの	E.B.ホワイト	あすなる書房
46	十五少年漂流記	ジュール＝ヴェルヌ	講談社
47	地雷ではなく花をください	柳瀬房子	自由国民社
48	A FRIEND	谷川俊太郎	玉川大学出版部
49	新ちゃんがないた！	佐藤 州男	文研出版
50	星座を見つけよう	H.A.レイ	福音館書店

美郷町「読書100泉（小学校上学年部門）」

No.	書名	著者	出版社
51	そのこ	谷川俊太郎	晶文社
52	それいけズッコケ三人組	那須正幹	ポプラ社
53	ダーウィンのミミズの研究	新妻 昭夫	福音館書店
54	太陽の子	灰谷 健次郎	理論社
55	宝島	R. L. スティーブソンJr.]	福音館書店
56	だれも知らない小さな国	佐藤 さとる	講談社
57	注文の多い料理店	宮沢賢治	岩崎書店
58	長くつ下のピッピ	アストリッド=リンドグレーン	岩波書店
59	チョコレート工場のお宝	ロアルド・ダール	評論社
60	チョコレート戦争	大石真	理論社
61	天動説の絵本	安野光雄	福音館書店
62	トム・ソーヤの冒険	マーク・トウェイン	福音館書店
63	ドリトル先生アフリカゆき	ヒュー・ロフティング	岩波書店
64	西の魔女が死んだ	梨木香歩	新潮社
65	日本の神話	伊東利和	幻冬舎
66	人間になりたがった猫	ロイド=アリグザンダー	評論社
67	ハイジ	J.シュペーリ	福音館書店
68	バッテリー①	あさのあつこ	教育画劇
69	葉っぱのフレディ	レオ・バスカリア	童話社
70	ハリーポッターと賢者の石	J・K・ローリング	静山社
71	悲劇の少女アンネ	シュナーベル	借成社
72	ピリカ おかあさんへの旅	越智典子	福音館書店
73	フェアブル昆虫記ふしぎなスカラベ	アンリ・フェアブル 奥本大三郎	集英社
74	不思議の国のアリス	ルイス・キャロル	福音館書店
75	ラント!	クレイグ・シルビー	静山社
76	ふたり★おなじ星のういで	谷川俊太郎	東京書籍
77	ふたりのイーダ	松谷 みよ子	講談社
78	フングリロングリ	岡田 淳	借成社
79	ヘレン・ケラー	砂田弘	ポプラ社
80	ペロ出しチョンマ	齊藤隆介	理論社
81	冒険者たち	斎藤 惇夫	岩波書店
82	ぼくらの七日間戦争	奈田 理	角川書店
83	ほしにむすばれて	谷川俊太郎	文研出版
84	ホビットの冒険	トールキン	岩波書店
85	まるむし娘	さくら ももこ	集英社
86	見えなくてもだいじょうぶ?	フランツ=ヨーゼフ=ファイニク	あかね書房
87	Q世代塾の問題児たち	石川宏千花	理論社
88	水を食べる!	足立己幸	大日本図書
89	モモ	ミヒヤエル=エンデ	岩波書店
90	ぼくの中にある光	カチャ・ペーレン	岩波書店
91	森へ	星野道夫	福音館書店
92	森を育てる生きものたち雑木林の絵本	谷本雄治	岩崎書店
93	夕日がせなかをおしてくる	阪田 寛夫	岩崎書店
94	もうじきたべられるぼく	はせがわゆうじ	中央公論新社
95	読みがたり秋田むかし話	秋田県国語研究会	日本標準
96	ライオンと魔女	C.S.ルイス	岩波書店
97	ルドルフとイッパイアッテナ	斎藤洋	講談社
98	若草物語	オルコット	福音館書店
99	吾輩は猫である	夏目漱石	講談社
100	わたしのいもうと	松谷みよこ	借成社

美郷町「読書100泉（中学校部門）」

No.	書名	著者	出版社
1	赤毛のアン	モンゴメリ	ポプラ社
2	バツタを倒しにアフリカへ	前野ウルト浩太郎	光文社
3	あのころはフリードリヒがいた	リヒター	岩波書店
4	アメリカひじき・火垂るの墓	野坂昭如	新潮文庫
5	アンネの日記	アンネ・フランク	文藝春秋社
6	生きること学ぶこと	広中平祐	集英社
7	伊豆の踊子	川端康成	新潮文庫
8	いちご同盟	三田誠広	集英社
9	一瞬の風になれ	佐藤多佳子	講談社
10	一色一生	志村ふくみ	講談社
11	とんび	重松清	角川書店
12	いのちわたし、画学生さんのぶんまで生きる	窪島誠一郎	アリス館
13	おちくぼ姫	田辺聖子	角川書店
14	大人になるヒント	中沢けい	メディアパル
15	鬼の橋	伊藤遊	福音館書店
16	クスノキの番人	東野圭吾	実業之日本社
17	お米は生きている自然と人間	富山和子	講談社
18	解剖学教室へようこそ	養老孟司	筑摩書房
19	失敗の科学	マシュー・サイド	ディスカヴァー・トゥエンティワン
20	かぎりなくやさしい花々	星野富弘	偕成社
21	楽隊のうさぎ	中沢けい	新潮社
22	風が強く吹いている	三浦しをん	新潮社
23	カラフル(フォア文庫)	森絵都	理論社
24	漢詩入門	一海知義	岩波書店
25	きいちゃん	山元加津子	アリス館
26	舟を編む	三浦しをん	光文社
27	機関車先生	伊集院静	文藝春秋
28	キッチン	吉本ばなな	新潮社
29	君たちはどう生きるか	吉野源三郎	ポプラ社
30	きみの友だち	重松清	新潮社
31	きよしこ	重松清	新潮文庫
32	銀河鉄道の夜	宮沢賢治	講談社
33	行為の意味	宮澤章二	ごま書房新社
34	嫌われる勇気	岸見一郎/古賀史健	ダイヤモンド社
35	高円寺純情商店街	ねじめ正一	新潮社
36	こころの処方箋	河合隼雄	新潮社
37	国境なき医師団 貫戸朋子	NHK「課外授業ようこそ先輩」製作グループ編	KTC中央出版
38	子どもたちの遺言	谷川俊太郎	佼成出版社
39	蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎
40	最後のひと葉	オー・ヘンリー	偕成社
41	さがしもの	角田光代	新潮文庫
42	砂漠	伊坂幸太郎	実業之日本社
43	さぶ	山本周五郎	新潮文庫
44	竹取物語	角川書店/谷口広樹	KADOKAWA
45	潮騒	三島由紀夫	新潮文庫
46	鉄道員 ぼっぼや	浅田次郎	集英社文庫
47	下町ロケット①	池井戸潤	小学館
48	「自分の木」の下で	大江健三郎	朝日新聞出版
49	しゃばけ	昌中恵	新潮社
50	車輪の下	ヘッセ	偕成社

美郷町「読書100泉（中学校部門）」

No.	書名	著者	出版社
51	15歳の残像	江國香織	新潮社
52	14歳の君へどう考えどう生きるか	池田晶子	毎日新聞社
53	ショート・ショートセレクション①	星 新一	理論社
54	職人	永六輔	岩波書店
55	しろばんば	井上靖	講談社
56	深夜特急①	沢木耕太郎	新潮社
57	深夜特急②	沢木耕太郎	新潮社
58	深夜特急③	沢木耕太郎	新潮社
59	深夜特急④	沢木耕太郎	新潮社
60	深夜特急⑤	沢木耕太郎	新潮社
61	深夜特急⑥	沢木耕太郎	新潮社
62	すいかの匂い	江國香織	新潮社
63	杉原千畝物語 命のビザをありがとう	杉原幸子	金の星社
64	精霊の守り人	上橋菜穂子	偕成社
65	ゾウの時間ネズミの時間	本川達雄	中央公論新社
66	そこに僕はいた	辻仁成	新潮社
67	ダイブ①	森絵都	講談社
68	谷川俊太郎詩集	谷川俊太郎	思潮社
69	小さな町の風景	杉みき子	偕成社
70	ちいさな労働者	フリードマン	あすなろ書房
71	13歳からの生き方の教科書	藤尾秀昭	致知出版社
72	父の詫び状	向田邦子	文藝春秋
73	中学生からの作文技術	本多勝一	朝日新聞出版
74	沈黙の春	レイチェル・カーゾン	新潮社
75	ツナグ①	辻村深月	新潮文庫
76	都会のトム&ソーヤ①	はやみねかおる	講談社
77	夏の庭	湯本香樹実	徳間書店
78	野菊の墓	伊藤左千夫	新潮文庫
79	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	早川書房
80	博士の愛した数式	小川洋子	新潮社
81	走れメロス	太宰治	ポプラ社
82	ハッピーバースデー	青木和雄	金の星社
83	春の教え方	日高敏隆	埼玉福祉会
84	ブレイブ・ストーリー①	宮部みゆき	角川書店
85	ブレイブ・ストーリー②	宮部みゆき	角川書店
86	ブレイブ・ストーリー③	宮部みゆき	角川書店
87	ブレイブ・ストーリー④	宮部みゆき	角川書店
88	過ぎ去りし王国の城	宮部みゆき	角川書店
89	ポケット詩集①	田中和雄編	童話屋
90	ポケット詩集②	田中和雄編	童話屋
91	ポケット詩集③	田中和雄編	童話屋
92	マザー・テレサかぎりない愛の奉仕	沖守弘	くもん出版
93	祭りの場・ギヤマンビードロ	林京子	講談社
94	森は生きている	富山和子	講談社
95	指輪物語①	J・R・R・トールキン	評論社
96	夜のピクニック	恩田陸	新潮社
97	漁師さんの森づくり森は海の恋人	畠山重篤	講談社
98	レ・ミゼラブル 上	ユーゴー	岩波書店
99	レ・ミゼラブル 下	ユーゴー	岩波書店
100	わたしを束ねないで	新川和江	童話屋



第4次美郷町読書推進計画

発行 令和8年4月
美郷町教育委員会

編集 美郷町教育委員会
生涯学習課歴史文化財班（美郷町学友館内）
〒019-1404
秋田県仙北郡美郷町六郷字安楽寺122番地
TEL 0187-84-4040 FAX 0187-84-3763